

8 石油設備機器

【関連章第3章8】

事例1 「石油ファンヒータ付近の手指消毒用アルコールに引火して出火した火災」

出火時分 2月 18時ごろ

用途等 住宅 防火造 1/0 延 200 m²

被害状況 建物ぼや1棟 畳若干焼損

概要

この火災は、住宅の1階居室から出火したものです。

出火原因は、石油ファンヒータの吹出口前に置いていた手指消毒用のアルコールジェルボトルが熱せられて、ボトルに入っていたアルコールが気化し、石油ファンヒータの燃焼室内に入り込んだことで引火して出火したものです。

居住者は、玄関に置いてある電子レンジでお弁当を温めていると、隣の部屋の奥の方でオレンジ色の炎が見え、確認すると居室内の石油ファンヒータの前で畳が燃えているのを発見しました。その後、マットカーペット2枚を水に濡らし、燃えている畳に押し当てて消火しました。

初期消火実施後、自宅の電話から119番通報しました。

教訓等

この火災は、石油設備機器の近くに手指消毒用のアルコールを置いていたことで火災となったものです。コロナ禍という社会情勢において、一般家庭においても手指消毒用のアルコールが広く普及していますが、手指消毒用のアルコールは濃度によっては危険物に該当することもあり、近くに火気があると非常に危険です。石油設備機器を使用する際は、周囲に可燃物や危険物等が置いていないか確認してから使用するようにしましょう。また、外出する前や就寝する前は、完全に消えていることを確認するように心掛けましょう。



写真 8-1 出火箇所の焼損状況



写真 8-2 焼損したアルコールジェル
ボトルの状況